



## 《委員会報告》

・ 棕梨 兼彰 地区青少年交換委員長

9月7日に行った青少年交換帰国学生の報告会の様子が、編集してYou turb で公開となりました。事務局よりサイトのアドレスが連絡してあります。ロータリー関係者だけの公開とさせていただきます。ご視聴ください。

## 《お祝い》

会員誕生日 11月13日 小河 静雄 会員



泉 信子 会員

久保田英男ガバナー様、そして皆様、長寿のお祝い有り難うございます。

棕梨 兼彰 会員

石塚様、キョン クンへ様、中山様、本日はようこそ。

石塚様、本日の卓話よろしくお祈いします。

本日はお気に入りの「ゆであずき」のリングで来ました。

大野木 加代子 会員

石塚さん、中山委員長、本日はよろしくお祈い致します。

鈴木さん、かながわ信金捷ありがとうございます。

小河幹事、湘南ふじさわジャズミーティング大成功、おめでとうございます！

小河 静雄 会員

誕生日のお祝いをありがとうございます。

元気にがんばります。

## 《米山奨学金のお渡し》

キョン クンへ さん



地区大会長寿会員のお祝い

泉 信子 会員



11月末、一時帰国なさいます。次回の例会は、Zoom出席となります。

## 《スマイル報告》

中山 富貴子 様

(地区平和フェロー・奨学金委員長/茅ヶ崎 RC)

平和フェロー・奨学金委員会の中山です。本日は財団月間に学友の卓話をご希望いただき、ありがとうございます。

どうぞよろしくお祈いいたします。





## 《小話 3 分間スピーチ》

木島 英夫 会員



75歳まで、市役所の隣組朝日町で開業していました所へ、息子が眼科医院を開業しました。住まいを作る時、建築家が一生懸命やってくれたのですが、庭の整備費用がありませんでした。そこで、私が手作りで庭をやることになりました。これが、やってみると面白くて、花も実もある道楽なのだとわかりました。

今日遅くなったのも、山内病院の整形外科外来を宗4日半日づつやっているからです。他にも警察の嘱託医、市の委員会など毎日のように用事が入り忙しくしています。お迎えが来たら「忙しいから」とお断りする理由があるということにしようと思っています。

## 《ロータリー財団月間卓話》

「ロータリーでの留学経験と

それが今どのように生かされているか

～2度の留学を経て～」

R 財団学友

石塚 愛 (いしづか あい) 様

(紹介者：大野木 加代子 会員)



はじめに自己紹介をさせていただきます。私は二宮町の出身で、県立厚木高等学校、青山学院大学教育人間科学部心理学科、Mills College(ミルズカレッジ)の教育学部チャイルドライフ学科で修士課程を修了し、現在は横浜市立大学附属病院にてチャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)という専門職で勤務しています。

私は青少年交換プログラム(2009-2010 年度)とロータリー財団地区奨学金(2015-2016 年度)に選んでいただき、これまでに2度アメリカに留学することができました。高校生の頃から CLS という、病院に入院している/通院している子どもたちとその家族の心理社会的支援を行う専門職になるという夢をずっと持ち続けていました。ロータリーでの2度の留学は私の高校生の頃からの夢を叶えてくれただけでなく、人生を変える大きな転機となったのです。

地区奨学生の時にはカリフォルニア州のオークランドにある大学の学生で学業と実習に励んでいました。学部は女子のみ、大学院は男女共学で、生徒は約1200人ほど、留学生は全体の約1%という大学でした。キャンパス内はとても自然豊かで、リスヤスカンクだけでなくシカまで住んでいました。ホストクラブは5170地区のオークランド#3(ナンバースリー)という、世界で3番目に創設された歴史あるクラブで会員数が300人以上います。私は授業と実習の兼ね合いで中々例会にお邪魔することができませんでしたが、最初で最後の例会ではホストクラブで初めて女性会長になられた方や当時の国際ロータリーディレクターのブラッド・ハワード氏にお会いすることができました。また、その際にカウンセラーご夫婦からのサプライズでポール・ハリス・フェローの認証をいただき、留学中の忘れられない思い出のひとつとなりました。



この留学中のハイライトとしては、①授業・実習・言語の壁、②人・環境に恵まれた、③様々な価値観に触れることができた、の3つに集約されると思います。①は高校時代の留学とは違い、より高度で専門的な勉強に、幼稚園や病院での実習も組み込まれ、身体的にも心理的にも辛い時期がとて多くありました。最初は慣れることに必死であったと同時に自身の能力に自信を無くしていましたが、同期と励まし合い2年間の台風のような留学を乗り切れたと強く思います。この経験は現在の職場で外国人の患者対応をする際にも活かされています。②は大学院のスタッフや教授、同期だけでなくカウンセラーをはじめとするロータリアンの皆様、そして高校時代からのホストファミリーと友人、多くの素敵な方々に恵まれた留学生活であったことです。一人ひとりの温かな応援が夢を叶えるための大きな原動力となりました。③は私の住んでいたオークランド周辺はベイエリアと呼ばれ、カリフォルニア州のリベラルな授業の中でも多様性や民族性、LGBTQのことがディスカッションのトピックとして何度も挙げられていました。その中で日本人である私も意見を求められることがあったのですが、「ほとんどの時間を日本人に囲まれて生きてきた私にとって、民族性や多様性について考える機会が少なかった」という事実気が付いたこと、そして改めて考えるきっかけになったことは大きな収穫であったと感じています。Mills Collegeでの学びは私のこれまで持っていた価値観を良い意味で壊してくれました。



最後に私の現在の仕事である CLS という専門職のことについて皆様にご存知頂けたらと思います。病院で治療を受けている子どもたちは、不安・ストレス・葛藤・罪悪感等様々な感情を抱えています。その中で CLS は子どもたち一人ひとりの病院での経験に付随

する不安や恐怖が少しでも軽減され、頑張りを引き出し前向きに治療に取り組んでいけるよう支援しています。また、子どもたちの生活の中心である「遊び」に価値を置き、子どもたちがその子らしく過ごせるようサポートしています。CLS は元々アメリカで誕生した資格であり、現在もアメリカ又はカナダの大学・大学院で単位を取得することが求められます。2020年9月現在33施設47名が日本の医療機関で勤務しておりますが、全ての都道府県には配置されていない現状にあります。神奈川県には私を含め3名しかおらず(全て横浜市の医療機関)、すぐに人数を増やすこともできないため、講演会や勉強会にて CLS の専門性を多職種に知ってもらったり、それぞれの医療機関に個別に対応させてもらいながら、少しでも子どもたちに良い影響として還元されるよう頑張っています。CLS は様々な役割を持ちながら活動していますので、興味のある方はぜひホームページを見ていただければ幸いです。







中山 地区平和フェロー・奨学金委員長より、ロータリー財団の役割と寄付の使われ方についてお話いただきました。



石塚様に野口会長より謝辞



大野木 会員より、石塚様をご紹介いただきました。



本日のお料理



石塚様は、CLS としてのお仕事と共に、財団学友会の代表幹事としてもご活躍です。

